

# そらぐみだより

2024.11.29  
認定こども園 すみれ幼稚園

今月の上旬には早くも立冬を迎え、そろそろ冬の季節がやってきたと感じています。子どもたちは相変わらず元気いっぱい。寒さを吹き飛ばす準備は、もうできているようです。秋を代表するモミジ(紅葉)とカエデですが、植物学的には同じカエデ属だそうです。またモミジの語源は「もみづ」という、染物を染る際に色が変化していく様子をなぞらえた言葉から。カエデの語源は何と葉の形がカエルの手に似ているからという事です。それと、紅葉狩り(もみじ狩り)という言葉がありますが「守り」には「眺める、観賞する」といった意味もあるようです。子どもたちとしては「イチゴ狩り」のイメージがありそうですが…。調べてみると、いろいろ面白いですね。子どもたちにもお話をしてお話を聞いてもらえたらなと思います。



バケツで育てた稲ですが意外としっかりしていて鎌でスッと刈り取れないくらい丈夫でした。稲刈りをしたら本根を絡んで干しました。近くの田んぼの稲と比較すると、沐い感じもしますが手をかけたおが子です。2週間ほど干して乾燥させたお米を月夜裏しました。みんなと干かして一つ一つ丁寧に干しました。次は籾すり作業です。籾殻とお米が分かれて見て籾殻を吹き飛ばすと籾すりの完了となります。続いて精米作業です。玄米になったお米を容器に入れ搥でつくると米が出てきてきれいな白米になります。手間のかかる作業ですが、いまいちごたえを感じられない作業の一つです。お米は給食室で炊いてもらいカレーと一緒に頂きます。

米という字はハチの手がかかることからできているといふことですが本当に気の抜けない作業が多いことを感じました。昔の人はよく「こいん茶碗にお米がついているとモチモチいからきれいに食べなさい」と言っていました。がまごい実感しました。これからは更にお米、農畜産物を大切に食べたいと思えたバケツ稲作業も手がかからないうちと手持ちぶるたな感じもしますが農を身近に感じられたい機会です。庭がなくともバケツと土さえあればベランダなどでも栽培できます。農業を身近に感じることで食物を大切に思ひ気持ち、作っている人の想いを大切にしたいです。



トイレット  
ペーパーを  
転がして  
橋に変身  
してます

フィンさんとフィン人の  
広いお家

ここから階段を作り  
ビーズ転がしを作るので  
です。時間をかけて  
ついでに、作っていました。

カタンカタン電車です。

きれいに積むと  
高く積めることを知りまいた。

三角、立方形の積み木を  
使ってお山を作りました。

車(トイ)の  
完成です

ゴミ箱積場を作りまいた。



又ティンキー。ルールを覚えてきたので  
子どもたちが得意です

カードの絵が  
わかるようになって保険に見せてあげます。

それぞれが  
ひも通し 全集中



ビーズ通し  
全部通して  
ネックレス  
を作る  
みたいです。



プリス  
とよな  
柄に  
しめな  
儀一  
ぶくほ  
て  
遊ばす

フランク  
足で  
こた  
めり  
て



11/22(金)からアドベント週間に入りました。  
お部屋が暗くなるように火が灯りました。  
1本、2本、3本、4本とクリスマスに近づいていくと  
ろうそくが増えていきます。4本のろうそくに火が  
灯ったらイエス様のお誕生日です。お話を  
聞いたりアドベントカレンダーに数字を塗りかたてて  
ます。



アドベント  
カレンダー  
あかりが  
つくると...